

まだある勘定科目

～その他の債権・債務～

講師
粕谷和生

これまでに学んだ債権を表す勘定科目には受取手形や売掛金などがあり、債務を表す勘定科目には支払手形や買掛金などがありました。そのほかにも債権・債務を表す勘定科目は多数あります。債権と債務は、その正体がわかりにくい場合があります。今回は、どのような債権・債務が発生・消滅しているかを学習していきます。

調べておこう・覚えておこう

貸付金・借入金／手形貸付金・手形借入金／前払金・前受金／未収金・未払金／所得税預り金／仮払金・仮受金

お金の貸し借りに何を使う？

(1) 債権とは・債務とは

債権とは、将来、一定金額を受け取ることなどを請求できる「権利」をいいます。また、債務とは、将来、一定金額を支払わなければならないなどの「義務」をいいます。

Key Word：債権 債務

(2) 貸付金と借入金

貸付金：借用証書によって貸したお金をあとで返せと請求できる債権を表す勘定科目

借入金：借用証書によって借りたお金をあとで返すという債務を表す勘定科目

【例1】 石井商店は、松田商店に借用証書によって現金¥100,000を貸し付けた。

①債権・債務の発生

石井商店：借用証書によって貸したお金をあとで返せと請求できる債権が発生

→ 貸付金（資産）の増加

松田商店：借用証書によって借りたお金をあとで返すという債務が発生

→ 借入金（負債）の増加

②仕 訳

石井商店：（借） 貸付金 100,000 （貸） 現金 100,000

松田商店：（借） 現金 100,000 （貸） 借入金 100,000

【例2】 石井商店は、松田商店から貸付金¥100,000の返済を受け、利息¥4,000とともに現金で受け取った。

①債権・債務の消滅

石井商店：貸付金という債権の消滅 → 貸付金の減少

松田商店：借入金という債務の消滅 → 借入金の減少



②仕 訳

石井商店：(借) 現 金 104,000	(貸) 貸 付 金 100,000
	受取利息 4,000
松田商店：(借) 借 入 金 100,000	(貸) 現 金 104,000
支払利息 4,000	

Key Word：貸付金 借入金

(3) 手形貸付金と手形借入金

借用証書の代わりに約束手形によって金銭の貸し借りをを行う場合には、手形貸付金と手形借入金を用います。

手形貸付金：約束手形によって貸し付けたお金をあとで返せと請求できる債権を表す勘定科目

手形借入金：約束手形によって借りたお金をあとで返すという債務を表す勘定科目

【例1】 石井商店は、松田商店に約束手形によって現金¥100,000を貸し付けた。

石井商店：(借) <u>手形貸付金</u> 100,000	(貸) 現 金 100,000
松田商店：(借) 現 金 100,000	(貸) <u>手形借入金</u> 100,000

【例2】 石井商店は、松田商店から手形貸付金¥100,000の返済を受け、利息¥4,000とともに現金で受け取った。

石井商店：(借) 現 金 104,000	(貸) <u>手形貸付金</u> 100,000
	受取利息 4,000
松田商店：(借) <u>手形借入金</u> 100,000	(貸) 現 金 104,000
支払利息 4,000	

Key Word：手形貸付金 手形借入金

ポイント 金銭の貸借に借用証書が使われる場合 → 貸付金・借入金

金銭の貸借に約束手形が使われる場合 → 手形貸付金・手形借入金

商品との関係に注意

(1) 前払金・前受金

前払金：注文した商品を確実に引き渡せと請求できる債権を表す勘定科目

前受金：注文を受けた商品を確実に引き渡すという債務を表す勘定科目

【例1】 石井商店は、松田商店に商品300,000円を注文し、内金として¥60,000を小切手を振り出して支払った。

①債権・債務の発生

石井商店：注文した商品を確実に引き渡せと請求できる債権が発生

→ 前払金（資産）の増加

松田商店：注文を受けた商品を確実に引き渡すという債務が発生

→ 前受金（負債）の増加

(3) 立替金・預り金

立替金：従業員などのために一時的に立て替えしたときの債権を表す勘定科目

預り金：従業員などから現金などを一時的に預かったときの債務を表す勘定科目

(4) 所得税預り金

所得税預り金：源泉徴収制度によって給料から差し引いた所得税を預かったときの債務を表す勘定科目

【例1】 給料 200,000 円の支払いにあたり、所得税額 ¥10,000 を差し引き、残額 ¥190,000 を現金で支払った。

(借) <u>給料</u> 200,000	(貸) <u>現金</u> 190,000
	<u>所得税預り金</u> 10,000

【例2】 従業員から預かった所得税を現金で納付した。

(借) <u>所得税預り金</u> 10,000	(貸) <u>現金</u> 10,000
--------------------------	----------------------

Key Word：所得税預り金

仮に仕訳する**(1) 仮払金・仮受金**

仮払金：とりあえず支払いをしたが、勘定科目やその金額が確定しない場合に、一時的に仮の仕訳をするときに使う勘定科目。

仮受金：とりあえず受け取りをしたが、勘定科目やその金額が確定しない場合に、一時的に仮の仕訳をするときに使う勘定科目。

【例1】 従業員の出張に際し、旅費の概算額として ¥50,000 を現金で渡した。

(借) <u>仮払金</u> 50,000	(貸) <u>現金</u> 50,000
-----------------------	----------------------

※概算額 → とりあえずの金額の意味 → 旅費の金額は確定していない → 仮払金勘定に計上

【例2】 従業員が出張から帰り旅費を精算した結果、旅費の金額は ¥48,000 と確定し、残額 ¥2,000 を現金で受け取った。

(借) <u>旅費</u> 48,000	(貸) <u>仮払金</u> 50,000
	<u>現金</u> 2,000

【例3】 出張中の従業員から当店の当座預金口座に ¥30,000 の振り込みがあったが、内容が不明である。

(借) <u>当座預金</u> 30,000	(貸) <u>仮受金</u> 30,000
------------------------	-----------------------

※内容が不明 → 勘定科目が確定しない → 仮受金勘定に計上

【例4】 例3の不明だった振込額は、得意先A商店に対する売掛金の回収額であることがわかった。

(借) <u>仮受金</u> 30,000	(貸) <u>売掛金</u> 30,000
-----------------------	-----------------------

(2) 商品券

商品券とは、お店が現金と引き換えに発行し、後日、その商品券と引き換えに商品を引き渡すというものです。したがって、お店が商品券を発行したときは「商品引き渡し債務」が発生します。その債務を表す勘定科目が「商品券」です。

【例1】 商品券¥20,000 を発行し、代金は現金で受け取った。

(借) 現金 20,000 (貸) 商品券 20,000

【例2】 商品¥20,000 を売り渡し、代金は商品券で受け取った。

(借) 商品券 20,000 (貸) 売上 20,000